

西濃に広がる あったかい 言葉かけ

西濃教育事務所 教育支援課 学校地域連携係
令和6年10月22日 / No.2

「大丈夫ですか？持ちましょうか？」

学校の帰り道、重そうな荷物を持っていた大人の方がいたときに、小学生の女の子が迷わず「大丈夫ですか？持ちましょうか？」と、その人に声をかけていました。声をかけようかと思ったとき、不安や緊張が大きくなって、なかなか声をかけられないことが多いのに、小学生の女の子のさっと声をかける勇気が素敵だと思いました。私もその子を見習って、声をかける勇気を持ちたいです。

「大丈夫、頑張ってるの、わかってるよ」

部活で私以外の子がみんな遊んでいて、本当は私が止めるべきなのに、怖くて何も言えずに私は一人練習していた。少しして、先輩が来て、みんな練習を始めた。そして先輩が私に小声で言った。「大丈夫、頑張ってるの、わかってるよ。」泣きそうになるのをこらえた。

「ともだちになろう」

わたしが入学してしばらくの時は、なかなか友達ができませんでした。だけど5月ぐらいになってから、同じ通学班の子(2人)が「いっしょにあそぼうよ。」や「ともだちになろうよ。」とってくれました。私は2人に「いっしょにあそぼうよ。」とか「ともだちになろうよ。」と言われて、とてもうれしい気持ちになりました。

「大じょうぶ。れんしゅうしたらできるよ。」

わたしが体育の時、前てん後てんができず、くやしくてないていたとき、はんのみんなや友だちが、「大丈夫。れんしゅうしたらできるよ。」とってくれました。わたしは、もうできないよと思っていたけど、友だちが言ってきて、「れんしゅうしたらできるかも」とゆうきをくれてうれしかったです。

「ありがとうございました！」

通勤時、松並木通りで信号が赤になり止まりました。通学途中の子どもたちの列が横断歩道を通過し、最後の子どもが頭を大きく振り下げて「ありがとうございました！」とってくれました。運転手の私に届くほどの大きな声でした。車は、赤で止まれが当たり前だけれど、その一言で、朝から気分がよくなりました。

「マイペースに」

「マイペースに」これは私が悩んでいる時に祖父が掛けてくれた言葉です。私が休みの日に祖父の家に遊びに行った時、私が困っているのを察してくれたのか、「マイペースにな、でもがんばれ！」と声を掛けてくれました。それからうまいかないことがあって不安になった時も、自分のペースで頑張ることであまういようになりました。